

【取組内容④】「校務の徹底的な効率化」

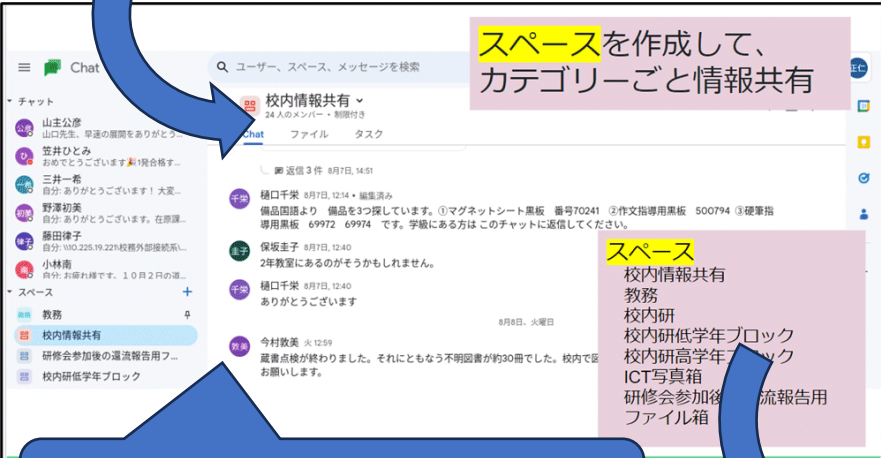
Chat導入前の校内連絡体制の問題点

- | | |
|----------------|---------------|
| ・職員室ホワイトボード | ・気がつかない |
| ・付箋を机上に | ・紛れてしまう |
| ・校内電話 | ・不在のときは |
| ・超緊急連絡は | ・教頭や教務主任が伝え歩く |
| ・週1回の打ち合わせ(口頭) | ・不在のときは |
| ・Face to Face | ・長期休業中は |



Chat導入後の校内連絡体制は、「出勤した時に必ずChatを確認する」というルールを徹底したことで、情報漏れが減り、見直したいデータやファイルの検索が簡単にできたりするなど、紙よりも確実に、迅速な連絡が可能になった。先生達にとって便利で重要なツールとなった。

スペースを作成して、カテゴリーごと情報共有



- スペース**
- 校内情報共有
 - 教務
 - 校内研
 - 校内研低学年ブロック
 - 校内研高学年ブロック
 - ICT写真箱
 - 研修会参加後経過報告用ファイル箱

管理職の先生も「予想以上に便利だった」と評価

Chat導入後の校内連絡体制

- ・出勤したらChatを確認するというルール
- ・付箋をなくすような情報漏れが減る
- ・不在時でも連絡できる
- ・緊急連絡こそ早さがキモ(校内放送とも併用)
- ・記録(データ・共有ファイル)が残る=検索可能
- ・長期休業中でも連絡がスムーズ
- ・カレンダーでスケジュールの確認

より確実に、迅速な連絡が可能になった

課題: Chatのスペースに入れない職員には、必要に応じて別の方法で連絡する必要

リーディングDXスクール事業【実践事例】

甲府市立石田小学校

【取組内容⑤】「実践内容を公開授業で地域内外に普及」



- ・学校内の取組を地域内外に発信するために、授業公開を実施。
- ・全ての学級でICTを活用した授業を実施することで「学校全体の取組」として発信することができた。
- ・授業公開には、多くの保護者も参加して、ICTの取組が多くの人たちに理解されるように工夫。
- ・講演会もICTの有識者を招聘して、地域のリーディングDXスクールのリーダーとして役割を果たす。



令和5年度文部科学省リーディングDXスクール事業

Global and Innovation Gateway for ALL

GIGAスクール授業公開のご案内

子どもが主語になる授業をめざして

GIGA参観日@甲府市立石田小学校

**全10学級でGIGA端末
クロームブック
を活用した実践を公開**



2023.11.22
(水)

※この日は、学校開放日として保護者も参観に来校します。

13:00～ 受付
13:30～14:15 授業公開1・2・3年

甲府市立石田小学校 リーディングDXスクール事業概念図

「言語能力」「情報活用能力」「問題発見・解決能力」の育成
自ら学び続ける子どもの育成 ～ICT(1人1台)の効果的な活用を通して～

1人1台のGIGA端末=ICTの普段使い・汎用的なソフトウェアとクラウド環境を徹底的に活用・日常的な持ち帰りによる家庭学習の充実

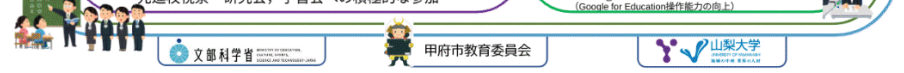
令和5年度リーディングDXスクール

11月22日

・ICTを普段使いする姿を参観していただく地域・保護者への学校開放日を計画

⇓ **「GIGA参観日」を開催**

・端末は学習に使うものという意識の醸成



リーディングDXスクール事業【実践事例】

甲府市立石田小学校

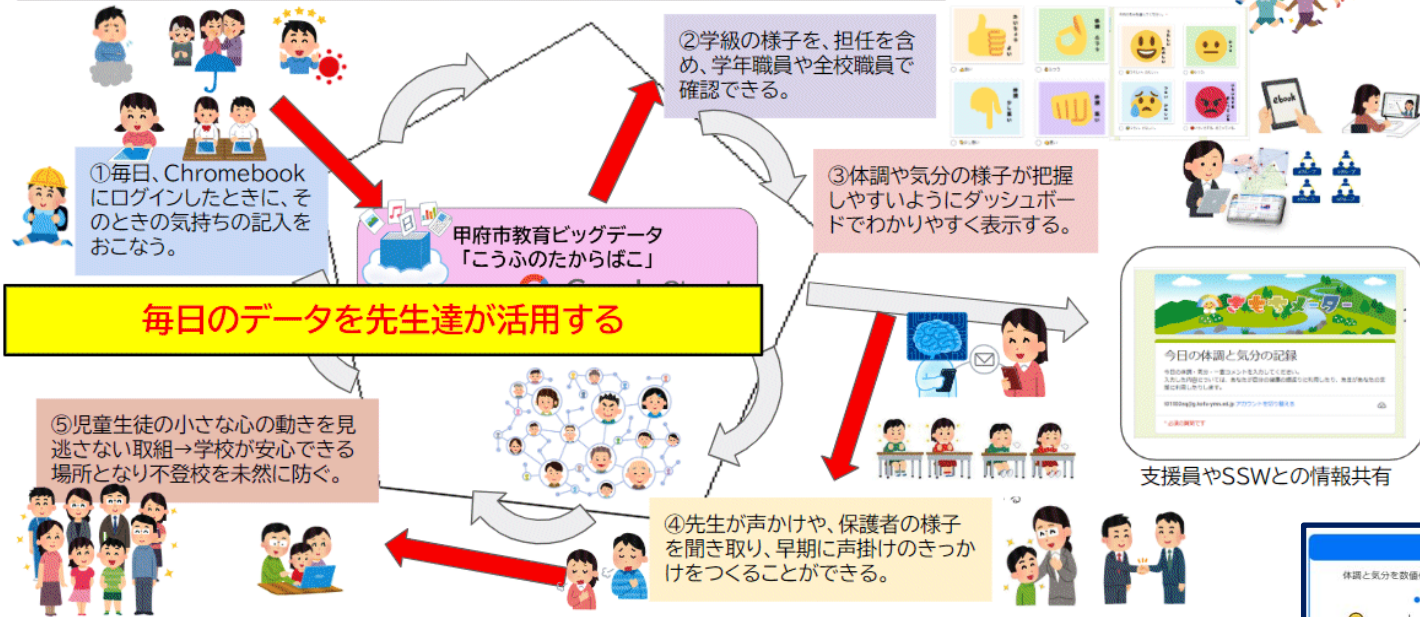
【取組内容⑤】「ICT端末を活用した子ども達の心の健康観察と悩み相談対応」

子どもと教師の繋がりひとつに

こころの様子を可視化する取組(甲府きもちメーター)

ねらい
毎日、こどもの心の様子を記入させることで、不登校の兆候が見られた場合は、早期段階に発見ができ、学習支援や相談支援ができる。

推進基本目標
新たな時代の「まなび」を創り、
子どもの未来を拓くまち



	学習	相談
0	なし	-
0	0:30	-
0	1:00	-
0	なし	-
0	1:30	-
0	なし	ある

・「相談がある」と回答した様子は、学校内の全職員で確認ができ、迅速な対応ができる。

- ・ ICT端末を利用する事で、子ども達の様子を可視化する取組のサイクル
- 1. 毎日、ICT端末にログインするとアンケートが実施。
- 2. リアルタイムで集計されて教師用のダッシュボードに表示。
- 3. 日常の声かけの参考にする。先生達が子ども達をサポートするアンテナのひとつとして

